

新闻摘要



ニュース記事から (2018年12月1日~2019年5月31日)

2018 年 12 月 10 日 (星期一)

厚生労働省公布，遗华日本人一行 6 人(遗华日本人 3 人、护理人员 3 人)的集体暂时回国日程是从 12 月 11 日(星期二)到 12 月 21 日(星期六)，共 12 天。委托公益财团法人・中国残留孤儿援护基金实施。厚生労働省从平成 6 年开始实施中国遗华日本人集体暂时回国活动，平成 5 年之前这个活动是由民间团体负责实施的。

2019 年 3 月 27 日 (星期三)

3 月 26 日下午，为遗华孤儿建立的共同墓地和纪念碑工程在神戸市垂水区市立舞子墓园完工，并于当日举行了竣工仪式。“兵库县中国归国者之会”在“支援中国『残留日本人孤儿』兵库之会”的协助下，积极募捐。同时向兵库县及神戸市提出了请求给予经费补助的要求。神戸市提供了墓地建设用地区、兵库县提供了纪念碑制作费用。在竣工仪式上，兵库县社会福祉局长代表县知事宣读了致辞，神戸市长久元代表来宾致辞，支援团体的代表、律师之会的代表等多人出席，归国者以及支援者约 80 人参加。

●为归国者提供的公墓一览请参看下述网页和『天天好日』75 号。
中国帰国者支援・交流センター
<https://www.sien-center.or.jp/>

5 月 9 日 (星期四)

5 月 10 日下午 6 点半，纪录片《战后中国残留日本妇人考》放映会在 JT 东京研修中心(东京都品川区)举行。北京电院学院教授、中国导演王乃真(62 岁)用

2018 年 12 月 10 日 (月)

厚生労働省は、中国残留邦人の集団一時帰国 3 名(残留邦人 3 名、介護人 3 名)の日程が 12 月 11 日(火)から 12 月 21 日(土)までの 12 日間になったと発表した。公益財団法人中国残留孤儿援护基金に委託して行う。厚生労働省では、平成 6 年から中国残留邦人の集団一時帰国事業を実施しており、平成 5 年以前は民間団体等による集団一時帰国が行われていた。

2019 年 3 月 27 日 (水)

3 月 26 日午後、中国残留孤儿のための共同墓地和纪念碑が神戸市垂水区の市立舞子墓園に完成し、竣工式があった。「兵库县中国帰国者の会」は、「中国『残留日本人孤儿』を支援する兵库の会」の協力を得て募金に取り組み、兵库県や神戸市に助成を要望してきた。神戸市から墓碑建設用地区の提供を受け、兵库県からは纪念碑建設費用の助成を受け、募金をあわせ公墓・纪念碑が完成した。竣工式には兵库県社会福祉局長が県知事のメッセージを代読、久元神戸市長が来賓の挨拶をし、支援団体代表、弁護士会の会など多数の来賓が出席、帰国者や支援者約 80 人が参加した。



●なお各地にある中国帰国者のための共同墓地等については、『天天好日』75 号(平成 29 年 8 月)に掲載。当センターのウェブサイトでも見ることができます。中国帰国者支援・交流センター
<https://www.sien-center.or.jp/>

5 月 9 日 (木)

5 月 10 日午後 6 時半からドキュメンタリー映画

6 年半の時間、坚持拍摄了对住在中国不同地区的 8 名遗华日本妇人进行的采访。片中“访问者”由在北京电影学院留学的演员小林千惠担任，影片记录了对遗华日本妇人的采访和她们回到祖国日本后的生活状况。在中国的上映时间还没决定。

5 月 11 日（星期六）

据北海道中国帰国者支援・交流センターの季刊杂志《白桦》44 号（2019 年度春季号）报道，由该中心主办的“了解中国・库页岛帰国者の集会”于 3 月 2 日在“かでる”2.7（北海道札幌市）举行。54 名帰国者と 75 名一般市民，共计 129 人参加了这个集会。

在第 1 部中，放映了满蒙开拓和平纪念馆制作的 DVD “满蒙开拓的真实”以及厚生労働省制作的 DVD “中国残留日本人等の証言映像《命运的轨迹》”中的定期来センターの帰国者証言映像部分，还举办了由帰国者发表的非常宝贵的体验座谈会。在第 2 部中，进行了帰国者日语教室、文化活動教室成果展示。



5 月 14 日（星期二）

厚生労働省公布，遗留在库页（萨哈林）岛的日本人一行 24 名（遗留日本人 12 人，护理人 12 人）的集体暂时回国日程是从 5 月 15 日（星期三）到 5 月 25 日（星期六），共计 11 天。委托“特定非营利活动法人・日本萨哈林协会”负责实施。厚生労働省从平成 7 年开始实施库页岛遗留日本人的集体暂时回国活动，平成 6 年以前这项活动是由民间团体负责实施的。

「戦後中国残留婦人考」の上映会が J T 東京研修センター（東京都品川区）で行われる。北京電院学院教授でもある中国人監督王乃真さん（62 歳）が 6 年半かけて中国各地の残留婦人 8 人のインタビューなどを撮りためた。北京電院学院に留学中だった俳優小林千恵さんが「訪問者」となり、残留婦人のインタビューや日本に帰国する様子を撮っている。中国での公開はまだ決まってない。

5 月 11 日（土）

北海道中国帰国者支援・交流センターの季刊誌「しらかば」44 号（2019 年度春季号）によると、同センター主催の「中国・樺太帰国者を知る集い」が、3 月 2 日「かでる」2.7（北海道札幌市）で開催され、帰国者 54 名、一般市民 75 名の計 129 名が参加した。

第 1 部では、満蒙開拓平和記念館制作 DVD 「満蒙開拓の真実」や、厚生労働省制作 DVD 「中国残留邦人等の証言映像～運命の軌跡～」からセンター通所者の証言映像を上映し、帰国者による貴重な体験談の発表もあった。第 2 部では、帰国者の日本語教室、文化活動教室の発表が行われた。

5 月 14 日（火）

厚生労働省は、樺太等残留邦人の集団一時帰国 12 名（残留邦人 12 名、介護人 12 名）の日程が 5 月 15 日（水）から 5 月 25 日（土）までの 11 日間になったと発表した。特定非営利活動法人日本サハリン協会に委託して行う。厚生労働省では、平成 7 年から樺太等残留邦人の集団一時帰国事業を実施しており、平成 6 年以前は民間団体等による集団一時帰国が行われていた。

